



■大漁だった「かいぼり」

昔は年中行事となっていた「かいぼり」の風景も今ではほとんど見られなくなりました。そこで、昔ながらの「かいぼり」を子ども達に経験させて、郷土愛を持ってもらおうと、東小学校のPTAが計画し、さきごろ学校裏の農業用水路で行ないました。子ども達もはじめて見るおとりものにびっくり、フナやハヤ、ライギョ、ウナギなどの獲物が大きなバケツもパイもありました。なお、取れた魚は冬の間プールに入れておき、理科の教材に使います。

■ふじやま学園で楽しいもちつき

ふじやま学園の園児にもちつきを楽しんでもらおうと、富士米穀組合の青年部会（内藤好会長）のみなさんは、12月10日学園でもちつき大会を行ないました。



■心ない緑のドロボウ

青島児童公園に植えてあったすいせんの球根がさきごろ盗まれてしまいました。この球根は稲葉森信さん（傘木）が市に寄付してくれたものの一部で、青島の町内の人達が昨年11月に植えました。盗まれたことを知った町内の人達は花が咲くのを楽しみにしていたのにと、ガツカリしています。



富士下水処理場の起工式

＝完成は昭和52年度＝

富士地区の家庭汚水を処理する下水処理場を新浜に建設しますが12月12日起工式を行ないました。

富士地区の公共下水道事業は、富士駅を中心とした市街地24.8%を処理区域としていますが、処理場は昭和52年度に完成します。完

成すると1日に40.750人分、4.025立方メートルの汚水を処理できるようになります。処理場の建設費は25億1600万円で、53.260平方メートルの敷地に沈澱池やエアレーションタンクなどの汚水処理装置、管理棟などをつくります。